

2020年2月20日

パッシブホーム株式会社

## LIXIL 住研×パッシブホームで地域再生、 地域開発プロジェクトをスタート

～LIXIL グループの LIXIL 住宅研究所と、パッシブホームの技術ノウハウのライセンス契約を締結～

このたび、住宅フランチャイズチェーンを全国展開する株式会社 L I X I L 住宅研究所と省エネ特許や北方型建築設計で先進的なノウハウを持つパッシブホーム株式会社は協働で、3月5日（木）から北海道江別市において、地域再生、地域開発プロジェクトをスタートします。また、プロジェクト開始に合わせて、パッシブホームのライセンスを LIXIL 住宅研究所が活用する契約を締結いたします。

新築事業をベースにリフォーム、リノベーション事業を進めてきた L I X I L 住宅研究所は、今後今回のプロジェクトでパッシブホームとともに取り組む街づくり（スマートシティ）も含め、住宅型有料老人ホーム、買取再販事業など非住宅分野を含めたお客様の住まいや暮らしについて加盟店とともに各地域のニーズに合わせた事業展開を積極的に進めてまいります。

江別 蔦屋書店の建物オーナーであり、株式会社北海道 TSUTAYA と共同出資で経営しているパッシブホーム株式会社と株式会社 LIXIL 住宅研究所は、新たな未来的な住宅、持続可能な住宅開発を江別 蔦屋書店エリアで実施し、全国的な展開を検討するとともに、本プロジェクトから、L I X I L 住宅研究所オリジナルの北方型仕様の商品を開発し、建築設計にイノベーションを起こしていきたいと考えています。

パッシブホームでは、2017年9月より北海道江別市牧場（まきば）町にて蔦屋書店を核テナントとした商業施設の開発に着手しています。本プロジェクトは、商業エリア、オフィスエリア（ヘル

スケア&レジデンス含む）、住宅エリアの3エリアで構成される総合開発となり、今回 L I X I L 住宅研究所と「住宅エリア」での開発を協働で進めていきます。具体的には、L I X I L 住宅研究所の知見・有識者・学識者の見解を交えて、江別 蔦屋書店のエネルギーコストを70%削減した実績があるパッシブホームの北海道基準をクリアする省エネやZEHなどの技術を合わせて「北方型仕様パッシブ設計住宅の開発」、住宅エリアにて2棟のモデルハウスと、そのほかに4棟の販売を計画しております。そして、これらで得られたデータを基に、全国に導入できる持続可能な住宅を目指していきます。

（江別 蔦屋書店を軸とした地方創生事業モデルイメージ図）



# PRESS RELEASE

報道関係者

お問合せ先

パッシブホーム株式会社

本社：北海道札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内北海道産学官協働センター

総務部 小林 正人（こばやし まさと） TEL:011-709-7777 FAX:011-709-1010

MAIL :

m.kobayashi@psh.co.jp

株式会社 LIXIL 住宅研究所について

社名：株式会社 LIXIL 住宅研究所

所在地：東京都江東区亀戸1-5-7 錦糸町プライムタワー

代表者：代表取締役社長 加嶋 伸彦

事業内容：アイフルホーム、フィアスホーム、GLホームという3つの住宅FCカンパニーの運営

住宅FC事業の戦略立案・シナジー効果の創出

住宅FCカンパニーの経営監査



パッシブホーム株式会社について

社名：パッシブホーム株式会社 PASSIVEHOME INC

所在地：北海道札幌市北区北21条西12丁目

北海道大学構内 北海道産学官協働センター

代表者：代表取締役会長兼社長 川多 弘也

事業内容：注文住宅、分譲住宅、マンション、賃貸住宅等の

企画・設計・施工・販売・リフォーム、江別 蔦屋書店運営、街開発

